

平成29年8月16日

蕨市長 頼高 英雄 様

蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議

会長 林 大樹

**蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地方創生加速化交付金に係る意見について**

本有識者会議は、市長より委員の委嘱を受けて、平成29年7月14日に蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地方創生加速化交付金について検証を行った。

蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる取り組みは、出生率の向上と子育て世代の定住促進に向けて、概ね着実に実施されているものと思われる。

また、地方創生加速化交付金についても、総合戦略の推進に一定の効果があつたものと認められる。引き続き、急速な少子高齢化の進展や人口減少社会に対応し、持続可能な都市として発展し続けるため、近年の傾向として見られる子育て世代の転出の解消に向けた取り組みを推進されたい。

なお、検証の過程で出された意見については、別添の「蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地方創生加速化交付金に係る意見」に整理したので、施策・事業の推進にあたっては十分に配慮・検討されたい。

## 別添

### 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地方創生加速化交付金に係る意見

#### (蕨市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの現状について)

- 転出者アンケートを実施したことにより、転出の理由等についての傾向が概ね把握できた。選ばれるまちとなっていく為には転入の理由を把握することも必要である。
- 住民が市を選ぶ要因の分析として、経済的な観点とコミュニティの観点から考えていけると良いと考えられる。
- 外国人人口の推移を見ると、平成28年度においても増えており、引き続き増加傾向にある。日本人と外国人がどう共存していくかを模索していく必要がある。
- 東京に近く、交通利便性が良いことで、一定程度の人口を保持できると推測されるが、人口構成は高齢者の割合が増えていくという予測の中で、高齢者が生き生きと暮らせる社会をどのように構築していくかの視点が大事である。

#### (蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略について)

- 子ども・子育て世代の定住を促すため、安全・安心なまちをつくとともに、教育にも力を入れていく必要がある。
- 防犯に対する取り組みにより、犯罪発生件数が減少傾向にあるので、今後も安全なまちづくりに努められたい。
- ぷらっと蕨のルート拡充などで交通利便性の向上を図る必要がある。
- 女性の平均寿命が延びていることや高齢化が進んでいる現状を受け、健康プログラムなど高齢社会への対策を進めていく必要がある。
- 蕨らしさをソフト面から関心を持ってもらおうと良いと考えられる。
- 図書館などの地域資源を利用しやすくしていくと、教育文化の強みになると考えられる。
- 機まつりのにぎわいの為にも空き店舗対策に努められたい。

#### (地方創生加速化交付金について)

今後も蕨ブランド戦略を推進することで、蕨ブランドの普及・啓発・定着を図り、市民の愛着意識を育てるとともに産業の活性化に努められたい。